

令和2年度の教育活動等に対する学校評価書

令和3年3月20日

認定こども園曙幼稚園 園長 草分 由子
 学校関係者評価委員会 委員長 勝亦 誠司

1 保育方針 たくましく生きる子どもを育てよう（眼を放すな、手を離せ）

2 本年度の重点目標

- (1) 幼保連携型認定こども園として保護者の就労支援など社会的インフラの役割を果たす。
- (2) 環境をとおした保育を行い子ども達の意欲を育てる。
- (3) 安全管理及び事故防止の徹底を図るとともに危機管理態勢を強化する。

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

評価点 4（あてはまる）、3（大体あてはまる）、2（あまりあてはまらない）、1（あてはまらない）、※（その他）

評価項目	自己評価		学校関係者評価委員	
	評価	園としての反省と改善策	評価	意見
在園時間が異なる多様な園児がいることを踏まえ、園児の生活が安定するよう、家庭や地域、幼保連携型認定こども園における生活の連続性を確保するとともに、一日の生活のリズムを整えるよう工夫している。	3	両親共に就労している子どもが増加（2・3号認定、新2号認定の増加）していく中で、お迎え時間が毎日遅い子、早朝保育を毎日利用する子、長期休日期間、土曜保育の利用が多い子などへの家庭的な雰囲気での保育について個に配慮した。	4	園に滞在する時間が多い子ども達の心の成長のために家庭的な雰囲気での時間と異年齢の交流に配慮しているところが良いと思われます。時代に合わせて、施設の在り方について考え保育を行っていることは良好だと思えます。
幼保連携型認定こども園における教育及び保育は、園児が自ら意欲を持って環境とかかわることによりつくり出される具体的な活動を通して、その目標の達成を図っている。	3	人的環境、物的環境、時間的環境、場所的環境など、環境に保育者の思いを込めて環境設定にこだわり、何事も説明し教え込むのではなく自然と子ども達が気付き、興味関心をもてるように努めた。	4	先生方の真剣な子ども達に対して、より良い環境を作っていく姿勢に感謝申し上げます。子ども達の主体性を育み、意欲をもった子ども達の育成について今後とも宜しくお願いします。
園児の事故予防及び救急・救命処置、火災・地震・不審者侵入等を想定した避難訓練などの危機管理ができています。	3	事故防止や万が一事故が起きた時の対応要領について、話し合いと訓練をしっかりと行った。更に危機管理態勢がしっかりとるように日々避難訓練などを行っていく。	4	毎月避難訓練を実施しているため、子ども達の避難の要領が円滑で迅速に避難することができているのが素晴らしいと思います。